

2020年2月号 / No.227 / 令和2年2月2日発行



© sayaka

野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



凛々しい姿のヒレンジャク君 (小城公園/撮影：水田稔さん)

野鳥さが227号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- 有明海の満潮時刻-----3ページ
- 各地の観察会報告-----4ページ
- 皆さんからのおたより-----7ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報 -----13ページ
- 近隣地区の観察会情報-----14ページ
- 観察会会場までの案内-----15ページ
- 観察会などのお知らせ (2020年2月~3月) -----16ページ



役員会報告

(事務局: 島田洋)

【日 時】2019年12月15日 & 2020年1月19日

【出席者】12/15: 14名 1/19: 12名

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがありません)

(1) カモ類調査について

- ① モニタリング 1000 ガンカモ類調査が1月11日~13日に全国で行われた。
有明海沿岸は7つの区域に分けてカモ類のカウント。
- ② 佐賀県支部は1月13日に有明海沿岸、河口域でカモ類などの調査を行った。

(2) 九州沖縄ブロック大会について

- ① 今年は福岡県支部が担当で4月11日~4月12日に開催される。
- ② 参加希望者は、事務局(島田)宛に申し込んでください。参加費は11,000円。

(3) 「サントリー世界愛鳥基金」について

- ① 佐賀県支部に100万円が支給されることとなった。
- ② 東与賀干潟拠点施設にある程度の広さの砂利地を作りたい。
コアジサシやシロチドリの営巣繁殖を期待したい。

(4) カラスカウントについて

- ① 佐賀市の委託事業。年2回、城内公園のネグラに入るカラスをカウントしている。
- ② 2月2日にカウントを行う。

(5) 風力発電について

- ① 国見岳山系や玄界灘に風力発電装置の設置が計画されている。
- ② 佐賀県支部は、宮原明幸支部長名で意見書を提出する。

(6) 子供会員について

- ① 佐賀県支部では会員の減少、高齢化が深刻である。
- ② 子供会員というのをつくり、将来の野鳥の会の維持発展につなげたい。
小中学生は年会費2000円として入会を呼びかける。

(7) 観察会参加費について

- ① 2020年1月の観察会から観察会の参加費を一部変更する。
- ② 野鳥の会の会員でない参加者からは参加費を300円頂く。



(8) その他、愛鳥モデル校、今後の観察会等について協議した。



ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

副支部長 青柳 良子

支部報 226 号でお知らせした以降の入会者情報を お知らせいたします。

1 月入会者 3 名 佐賀県支部の会員は現在 236 名です。

野鳥の会会員の皆様！

みなさまの周りに 花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方はいらっしやいませんか？ 観察会などにお誘いしてみてください。野鳥の会は「いつでも入会 OK」です。

日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、自然と人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護団体です。



有明海の満潮時刻 (六角川観測塔)



※潮高 5m 前後、午前 9 時頃からお昼頃に満潮を迎える日時を掲載しています。

	時刻	潮高 (m)		時刻	潮高 (m)
2月8日	9:00	5.1	3月8日	8:39	5.2
2月9日	9:47	5.4	3月9日	9:24	5.5
2月10日	10:29	5.6	3月10日	10:05	5.7
2月11日	11:06	5.7	3月11日	10:41	5.8
2月12日	11:40	5.6	3月12日	11:14	5.7
2月13日	12:12	5.4	3月13日	11:43	5.5
2月22日	9:10	4.9	3月24日	9:36	5.1
2月23日	9:43	5.1	3月25日	10:01	5.2
2月24日	10:12	5.1	3月26日	10:24	5.2
2月25日	10:36	5.2	3月27日	10:46	5.2
2月26日	10:58	5.1	3月28日	11:06	5.0
2月27日	11:17	5.1	3月29日	11:27	4.9

満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

■ 東よか海岸

潮高 5.0m 満潮の 2 時間前くらいがベスト！

■ 鹿島新籠海岸他

潮高 4.0m 満潮の 1 時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。)





各地の観察会報告



■東よか干潟（大授揚）観察会報告（佐賀市）

①【日 時】 2019年11月30日

【参加者】支部会員18名 一般参加者6名（案内役：田中丸雅雄、加藤芳隆）

【観察された野鳥】ツクシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、トモエガモ、コガモ、ホシハジロ、アオサギ、ダイサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、ミヤコドリ、ソリハシセイタカシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、コオバシギ、ハマシギ、エリマキシギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、クロハラアジサシ、ミサゴ、キクイタダキ、ヒヨドリ、ホオジロ（36種類）

【案内役より】穏やかな快晴で、風もなく暖かい。対岸の雲仙もよく見え、絶好の探鳥会日和となりました。干潟にはズグロカモメ、ツクシガモの白色が目立つ。水際にコアオアシシギ、アカアシシギを見る。次に数日前より見られるソリハシセイタカシギ2羽を見る。西に移動し、ミヤコドリ、カモ類を見る。後半は佐賀大学の学生と合流しての観察会となる。好天に恵まれ快適の終えることができました。

②【日 時】 2019年12月15日

【参加者】支部会員25名 一般参加者6名（案内役：田中丸雅雄、加藤芳隆）

【観察された野鳥】ツクシガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、ミヤコドリ、ソリハシセイタカシギ、オオハシシギ、オグロシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、コオバシギ、ハマシギ、エリマキシギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、キクイタダキ、ヒヨドリ、メジロ、シロハラ（33種類）

【参加者のコメント】朝から快晴の天気ですが、北風が冷たい。堤防を下りると目の前にダイシャクシギ200羽の群。群の中にホウロクシギを探すが、見つけれず。北風のため鳥たちは皆、陸側に正面を向ける。シロチドリの顔に「かわいい」の声があがる。ハヤブサが突然現れ、シギ・チドリは群になり逃げ回る。前回も見られたソリハシセイタカシギを観察していると、ハヤブサ再度現われ、ズグロカモメを捕らえる。干潟はツクシガモ、ズグロカモメ、クロツラヘラサギが増えて、冬らしくなりました。

■朝日山観察会報告（鳥栖市）

【日 時】 2020年1月2日

【参加者】支部会員23名 一般参加者3名（案内役：橋本泰博）

【観察された野鳥たち】カルガモ、キジバト、アオサギ、クサシギ、イソシギ、ハイタ

カ、カワセミ、コゲラ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマ
ガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、シロハラ、ツグミ、
ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、
アオジ、ソウシチョウ（28種）

【案内役より】毎年思うこと・・・世の人々は正月気分で、酒でも飲んでぬくぬくと過
ごしているだろうに、年の初めの寒さの中をこの観察会に参加するためにわざわざ
足を運んでくれるだろうか・・・？ しかし、この心配も杞憂に終わり、22名の
参加者で集合場所の駐車場は満杯になったのでほっと一安心したことだった。

佐賀県の東の端での観察会にもかかわらず、佐賀市以西からの参加者もあった。

また、嬉しいことに帰省中の東京や熊本の在住者の参加もあった。

駐車場近くのムクノキにヤドリギが寄生しているので、たまにヒレンジャクがやっ
て来るのだけれど、今年も見ることにはなかった。ヒヨドリが大騒ぎしていて上空
をツグミが飛び交っていた。今年は特にヒヨドリが多く、山のどこに行っても他
の鳥の鳴き声を隠すくらいに叫び立てていた。

山に登りかけてすぐの道端にツツジの生け垣があり、今年もソウシチョウが忙しく
エサ取りをしていた。少し距離を置いて観察するとすぐに道に姿を現すので、皆
で歓声を上げながら(?) 見ることしばし。外来種で嫌われやすい鳥だけれど、
きれいな姿をしているし、聞きようによっては見事な声で鳴いてくれる。

皆で見ていると、直上の木にメジロ、エナガ、シジュウカラ、コゲラの混群がやっ
て来た。エナガの数が多く、どんどん近づいてきたので、観察や撮影で興奮した。
頂上直下の駐車場に行ってみると、今年もまた、佐賀北校生のランニングに出くわ
した。寒い中、元気に足音もにぎやかに時折気合いを発しながら走り回っている。

「なんと、まあ！」といった感じだったけれど・・・。

小鳥の姿はなく、トイレ休憩とした。下っていく途中では、ランニングのせいか
どうかは分からないけれど、鳥の姿がほとんど見られなかった。さくらの枝を見
ながら歩いたのだけれど、ウソの姿も見られなかった。階段下の芝生広場へ行く
道でも、鳥の姿は少なかった。昨年、サービス満点だったルリビタキは、声さえ
聞こえなかった。

目玉がない観察会になりつつあったので、最後はカワセミにかけるばかり。

しかし、川筋に出ていつものポイントなどを探してもいない。諦めかけた自分に、
「カワセミだ」の声。緑の宝石を、双眼鏡で、スコープで、しっかりと見るこ
とができ皆さん満足の様子だったのでひと安心することができた。

朝日山は、暖冬のせいなのかは分からないけれど、
冬鳥の姿は少なかった。しかし、新年度そうそうに
小鳥たちの姿を楽しむことができたし、和気藹々と
話しながら観察会を終えることができた。

これから始まる令和2年も、色んな場所に出かけて、
たくさんの鳥たちや鳥好きの人たちとの巡り会いを
楽しみたい。



■出水探鳥行報告（鹿児島県出水市、川内市）

【日 時】 2020年1月11日～12日

【参加者】6名（案内役：宮原明幸）

【観察された野鳥たち】カイツブリ、カワウ、ウミウ、ツクシガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、オシドリ、ヨシガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、オオミズナギドリ、セグロカモメ、ダイサギ、アオサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、クロツル、ナベツル、ナベクロ（クロツルとナベツルの交雑種）、カナダツル、アネハツル、マナツル、オオバン、コチドリ、タゲリ、ハマシギ、イソシギ、ミサゴ、トビ、ノスリ、オオタカ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、キジバト、ヒバリ、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ルリビタキ、イソヒヨドリ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、イカル、ニューナイスズメ、スズメ、ムクドリ、ホシムクドリ、コクマルガラス、ミヤマガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス（63種）

【案内役より】

13日に有明海一斉カモカウント調査が入りましたので、今年は1泊2日の行程で行って来ました。初日は1万羽のツルの中、15年ぶりに渡来したアネハツル1羽を探し廻り、2日目は、雨模様の中、川内原発周辺を見て来ました。

■森林公園観察会報告（佐賀市）

【日 時】 2020年1月19日

【参加者】支部会員14名 一般参加者2名（案内役：島田洋）

【観察された野鳥たち】カワウ、カイツブリ、マガモ、カルガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、バン、オオバン、タゲリ、クサシギ、キジバト、ドバト、カワセミ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、セッカ、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、シメ、スズメ、カササギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役より】

今回は森林公園との共同開催でした。そして初心者観察会でもありました。

9時前には集合場所の公園休憩所は参加者でいっぱいになりました。初心者は二組です。ご夫婦が一組、もう一組は4人家族でした。

森林公園の橋本園長にも挨拶をしていただき、観察会をスタートしました。

森林公園とはいうものの樹木はまばら。でもヒヨドリやツグミなどが姿を見せてくれました。池にはマガモの群れ。嘉瀬川まで行くとカモ類やタゲリ。ヨシ原にはホオジロやオオジュリン。オオジュリンはヨシの茎をつついていきます。茎の中にはエサがいるのでしょうか。

2時間ほどで観察会を終了し、休憩所で鳥合せをしました。30種類が確認できました。野鳥の数や種類がこれ以上減らないように、そして野鳥の会の会員数も減らないように今後も努力する必要があります。



皆さんからのおたより



●「巣箱の引っ越し」・・・古川 博英さん（吉野ヶ里町）

長年、トムソーヤの森に巣箱をかけていましたが、トムソーヤの森が再整備されることになりましたので、巣箱ごと引っ越しをしなければなりません。もう、ここで巣箱をかけるのを打ち止めにして、巣箱をニスで固めて、永久保存にしておこうかとも思ったのですが。でも、まだ続けてみようと思いました。そこで、いろいろと巣箱の引っ越し先を考えたのですが、吉野ヶ里町の東部工業団地の外れに、小さな遊水地があります。そこに決めました。年内に、設置します。来年の今頃、営巣の状況を報告できると思います。

今年は12月3日にトムソーヤの森から巣箱を回収してきましたが、3個ともシジュウカラが営巣していました。



●「コノドジロムシクイ探鳥旅行記」・・・徳淵 義実さん（鳥栖市）

12月20日19 新鳥栖駅Pに、ブログの「山のくまさん」、ブログの「花と鳥日記」ヒロさん、唐津の紳士Kさん、鳥に詳しい貴婦人Nさん、海外豊富なレディYさんと私の計6人が集合し、愛知県へ向かった。

明け方4時過ぎに現地に着、まだ暗い中を手探りで準備してポイントに移動した。

手持ち情報で正確な位置を確認して待っていると7時20分頃待望のコノドジロムシクイが出て来てくれて、我ら6人とも大感激、名前の通りのどの白い可愛い鳥だ。15分程姿を見せた。その後時々チラチラとする状態だったが9時50分頃から11時10分頃まで見え隠れしながらまあまあ近くにも現れてくれて、満喫できた鳥見だった。

現地ではあちこちのバーダーがくまさんの周りに集まり、小規模な同窓会風になぎわっていた。この珍鳥に出会えたのも、くまさんの人柄に集まる正確な情報であり、私たちもその恩恵に感謝して11時半ごろ帰路に着いた。最初に出てくれた7時20分頃は合わせて10名程だったバーダも私達が引き上げる11時半頃は70名を越えていた。

帰りの車中で鳥合わせ等しながら楽しく無事に23時半頃鳥栖に着いた。

くまさんハードな運転お疲れさまでした。今回出会った鳥は以下の20種類でした。

「ウ、オオバン、コゲラ、モズ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、コノドジロムシクイ、センダイムシクイ、ホシムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、アオジ」



コノドジロムシクイ



ウグイス



●「ハクセキレイの駅前ねぐら」・・・八木 ひとみさん（佐賀市）

1月2日に福岡県久留米市で同窓会帰りの深夜、メインストリートの明治通り西鉄久留米駅のすぐそばで信号待ちをしていると、足元に多量の鳥のフンが落ちていました。スズメかな？ と街路樹を見上げるとなにやら鳥がとまっています。

200羽はいるでしょう。腹は真っ白、喉元は黒い??? スズメではなさそう??? 尾羽が長い???

直ぐ上なのですが、ピクリとも動かず、暗くてわからない。寝ているようです。

携帯のカメラで写真をとりましたが喉元と白い腹しかわかりません。これは説明せねばと、翌日の夕方行ってみました。午後5時過ぎ、昨日の街路樹に鳥はなにもいませんでした。暗くなり始めた6時過ぎに再訪すると、街路樹には多数の鳥が止まったり、羽ばたいたりしています。双眼鏡で見ると「ハクセキレイ」でした。昨夜より多いかもしれません。おそらく300羽はいるようです。

こんなにたくさんのハクセキレイを見たのは初めてでした。

車や人が多い通りの夜の街路樹は公園や河川敷より暖かで、安全だからでしょうか。

ハクセキレイの集団行動を初めて見ました。 デジブックもご覧ください。

『 駅 前 ね ぐ ら 』

<http://www.digibook.net/d/23c4e77fb18d9e75b5bbb10f2ba9fd6ca/?m>



●「インターネット・バードソン」・・・中村 さやかさん（鹿島市）

バードリサーチの主催で2020年1月1日～19日の期間で開催された「第2回インターネット・バードソン」に参加しました。バードソンとは、バード+マラソンの造語で、

観察した野鳥の種類数を競うスポーツです。観察した野鳥の記録は、バードリサーチが提供する野鳥記録 web サイト「フィールドノート」に登録して種類数を把握します。全国から 244 名のバードウォッチャーが参加し、総記録種数は 294 種類に達しました。1 位の方は 160 種を記録されました。すごいですね！！

私はというと、初めのころは 10 位以内でいい調子だったのですが、後半ペースダウンし、結果は 98 種 26 位でした。少し残念でしたが、また来年も参加してみようと思います。

バードソンに参加したことで、丁寧に鳥を探そうになり、身近な場所にも驚くような鳥がいることを知りました。なんとお正月に佐賀市内の街中でアリスイとムジセッカを観察しましたよ。みなさんも機会がありましたらバードソンに参加してみてくださいね。

●「放鳥トキ「きずな」のその後」・・・馬場 清さん（嬉野市）

日本国内でのトキの生息が絶滅して、数十年後、中国より借用したペアで 2012 年に 3 組のつがいから計 8 羽のひなが孵化しました。この 8 羽のひなに対し佐渡市は愛称を命名することを発表し、全国から案を募集しました。

第 1 回目放鳥ペアのひなには愛称なし、

第 2 回目放鳥ペアのひなには「そら」「美羽（みう）」

第 3 回目放鳥ペアのひなには「きずな」「ぎん」「きせき」

第 4 回目放鳥ペアのひなには「みらい」「ゆめ」「きぼう」

と愛称が決まりました、その「きずな」を命名したのが私です。

佐渡市より名付け親の命名書が着きました、「きずな」と思われる写真??です。

放鳥後の消息は現認出来ないが、当時は繁殖を成功させる事が第 1 でした。なるべく静かに見守るために、8 羽とも足環装着はされてなく、個体識別はできません。足環は 2014 年からのひなに装着を始めました。野生下で生まれたトキのうち、現在は足環を付けていないトキの方が多くなっております。

「きずな」は今年 8 歳です、まだまだ元気な年齢です。野生下でペアを結び、ひなも誕生していることでしょう。現在、足環なし個体 124 羽（推定）のうちの 1 羽で居ることと思います。国内、野生下トキの推定個体数（佐渡島内 406 羽/本州 0 羽）。

推定個体数＝放鳥トキ個体数＋野生下生まれトキ推定個体数
2020 年 1 月 20 日現在の推定個体数 406 羽
放鳥数 364 羽～生存扱い 169 羽 + 野生下

生まれ（足環なし）124 羽 + 野生下生まれ（足環装着）113 羽

野生下で誕生し、生存しているトキの推定個体数は 237 羽になっております。

今後も増加されて日本国内各地でトキの飛翔する里山を見たいですね～！

出生証明書

子の愛称	きずな	男女の別	1 オス 2 メス
生まれたとき	平成 24 年 5 月 8 日	午前 午後	時 分 秒
(10) 出生したところ及びその種別	出生したところの種別	1 病院 2 診療所 3 助産所 4 自宅 5 その他	
	出生したところ	新潟県佐渡市	番地 番号
(11) 体重及び身長	体重 約 6.5 グラム	身長 約 10 センチメートル	
(12) 単胎・多胎の別	① 単胎 2 多胎 (子中第 子)		
(13) 母の氏名	第 3 回放鳥トキ	抱卵日数	28 日
(14) 孵化した子の数	3 羽		
上記のとおり証明する。 平成 24 年 5 月 23 日			
(15) 署名	新潟県佐渡市長 甲斐元也		佐渡市長之印

●「シジュウカラにみる言語の起源」講演会を聴講しました

・・・島田 洋さん（佐賀市）

野鳥にみる言語の起源を研究してきた鈴木俊貴先生の講演会に行きました。

【第90回昆虫セミナー】2012年6月から九州大学や佐賀大学など九州各地で昆虫や寄生虫など生物関係の研究に関するセミナーが開催されてきた、今回は野鳥の音声コミュニケーションに関するセミナーが佐賀大学で開催された。

【日時】2019年（令和元年）12月5日（木）17:00~18:30

【会場】佐賀大学農学部1号館2階第5講義室

【演題名】鳥の鳴き声に単語や文法？ シジュウカラにみる言語の起源

【講演者】鈴木俊貴（京都大学白眉センター）

専門は動物行動学。鳥類を対象に、鳴き声によるコミュニケーションの生態的意義や認知的基盤を研究してきた。他にも鳥類の社会学習や昆虫の擬態についても研究している。

【講演風景】開催時間は17時。すでに講義室は満席状態であった。佐賀大学の関係者、佐賀自然史研究会、そして日本野鳥の会佐賀県支部や筑後支部からも多くの参加者があった。

【開会】佐賀大学農学部の徳田誠先生から開会のあいさつと鈴木先生の紹介があり、さっそく講演が始まった

【講演内容】

白眉センター

- ① 京都大学次世代研究者育成支援事業「白眉プロジェクト」
- ② 先験的な研究者を養成していく。

今までの考え方

- ① これまでは、人類だけが言語能力を有するものと考えられてきた。
- ② ヒトは単語を用いて物事や意思を表しそれらを組み合わせて文章を作るとされた。
- ③ 動物の鳴き声は単なる感情の表れにすぎないとされた。
- ④ このような二分法は、正しくないことが明らかになってきた。

サルに注目しての研究

- ① シロテテナガザルは「ホーホー」「Ho-call」と大きな声で鳴きかわす。
- ② チンパンジーは、あいさつとしてパントフット。

解剖学的な違い

- ① サルの咽喉頭は多彩な音を発しにくい構造。声帯と舌の間の隙間が小さい。
- ② ヒトでは声帯と舌の間のすきまが大きい。いろんな発声ができる。

鳥類の発声

- ① 鳴管左右一対を動かしていろいろな音を出す。
- ② はくときに鳴くのか吸うときに鳴いているのかまだわかっていない。

鈴木先生とシジュウカラ

- ① 2005年 研究開始
- ② 2011年 単語発見

③ 2016年 文法発見

シジュウカラ

- ① 樹洞の中などに営巣する。
- ② 卵は6～13個。2週間で孵化。
- ③ ヨーロッパシジュウカラというのがいる。おなかが黄色。
- ④ 世界中にカラ類は59種類。
- ⑤ 日本ではシジュウカラの天敵としてはアオダイショウ。
- ⑥ ヨーロッパには樹に上るヘビはいない。マムシ類やヤマカガシ類はいる。



シジュウカラの単語・ヘビという単語

- ① ヘビを見ると「ジャージャー」という鳴き声を発する。
- ② ヘビのはく製を見た時も同じ声を発する。
- ③ ヘビを意味する特別な音声であろう。
- ④ 野外でこれをスピーカーから流すと成鳥はじっと地面を見る。
- ⑤ 巣箱で抱卵中のメスがこの音声を聞くと巣箱から飛び出す。

ヒトではMRI

- ① シジュウカラがこの音声に反応しているかを観たい。
- ② ヒトではfMRIを使って脳のどこが反応しているかを見ることが出来る。
- ③ しかしシジュウカラではこれは困難。

ヘビのように見せかけた木の枝を見せて反応を見る

- ① シジュウカラは12羽中11羽が見に来る。
- ② 警戒音を聞かせてから樹の枝を見せると1羽しか来ない。
- ④ 警戒音「ジャージャー」を聞くとヘビをイメージしていると言える。

今後の展望

- ① サバナモンキー、ミーアキャット、ワタリガラスでも言語機能を研究。

言語能力・単語理解は親譲りか？それとも学習か？

- ① カラスやネコへの警戒音でヒナはうずくまる。生まれつき知っている？
- ② ヘビへの警戒音でヒナは巣箱から飛び出す。
- ③ ひなが巣立ちすると親は本物のヘビを若鳥に見せている。野外実習か。

ヘビやアオダイショウを意味する音声

- ① アオダイショウを意味する単語はありそう。
- ② 昔八丈島にアオダイショウはいなかった。
- ③ ヨーロッパのシジュウカラにはヘビを意味する単語はない。
- ④ ヘビを意味する単語はヒガラ、ゴジュウカラにもある。

アカゲラ

- ① アカゲラはカラスには反応してひなはうずくまる。
- ② えさをやらないとひなは巣穴から顔を出してヘビを見ると脱出する。
- ③ アカゲラはヨーロッパではシジュウカラのひなを食す。
- ④ ヨーロッパでは、シジュウカラはアカゲラに対してはカラス対応をする。

シジュウカラの文法

- ① 群れの中でも情報伝達。

- ② 175 種類の声がある。
- ③ ピーツピ → 警戒しろ
- ④ シジジジ → 集まれ
- ⑤ ピーツピシジジジ → 警戒集まれ。フクロウを追い払う時の声 睡眠妨害に行く
- ⑥ これは2 語文となっている。語順が決まっている。
- ⑦ これを野外でスピーカーを使って再生した。
- ⑧ シジュウカラは首を振りながらスピーカーに近づく。
- ⑨ 語順を逆にすると反応してくれない。

文法能力

- ① 文法のルールに当てはめて初めて聞いた文章だって正しく理解できる。

多言語ごちゃませ

- ① シジュウカラはコガラなどと混群を作る。
- ② 互いに相手の言語を理解している。
- ③ シジュウカラとコガラの鳴き声を組み合わせてこれを聞かせて反応を見た。
- ④ これでもシジュウカラは反応してくれた。「警戒集まれ」という2 語文。
- ⑤ 文法に反した組み合わせでは反応しない。

人が会話に用いる認知能力はほかの動物にも広く進化しているか

- ① 日本のシジュウカラとヨーロッパシジュウカラは300 万年前に分化した。
- ② シジュウカラ語は世界のシジュウカラ類に世界共通。
- ③ ヒトでは200 万年前から言語がある。
- ④ シジュウカラでは1000 万年前から言語がある。
- ⑤ シジュウカラでは人より先に文法が進化した。

オウムの言語能力

- ① アレックススタディ オウムの言語能力の研究。
- ② オウムは形、色を理解する。数も答える。
- ③ オウムは4~5 歳児の能力は有している。
- ④ 英語の単語を150 個おぼえた。

ミツオシエ

- ① ヒトにハチの巣のありかを教える特別の声を出す。
- ② ヒトにハチの巣を破壊させて、幼虫やハチの巣を食する。
- ② ミツオシエとヒトの助け合い、野生動物と人類の共生という面白い事例。
- ③ アフリカのモザンビークで長く伝承されている。

スズメもシジュウカラ語を理解する

- ① スズメはシジュウカラ語の「オオタカ」に反応する。
- ② スズメの群れの中にシジュウカラ語のわかる個体がいるだろう。
- ③ この単語を聞いた途端にスズメの群れは一斉に飛び去って行く。

FOXP2 遺伝子

- ① 発達性言語協調障害のいくつかの症例はFOXP2 遺伝子の変異と関連している。
- ② シジュウカラなど野鳥でもこの遺伝子は見つかっている。

言語について

- ① 人類の言語は何百種類もあるが、動詞と名詞しかない言語もある。
- ② 野鳥には3語文もあるかもしれない。

【講演終了】

活発な質疑応答が続いていたが、予定時間も過ぎてしまっていた。
徳田先生が閉会を告げ、聴衆は鈴木先生に拍手を送って講演は終了した。

【聴講の感想】

内容豊かで実に楽しい講演であった。言語や進化というものの壮大さを改めて感じる事が出来た。そして野鳥の能力の高さには驚いた。



皆さんからの野鳥&生きもの情報

■永島 博さん（佐賀市）

1月12日 【小城公園】（写真左から）エナガ、キクイタダキ、コゲラ



■水田 稔さん（神崎市）

1月28日 【小城公園】（写真左から）ヒレンジャク、キレンジャク、
ハチジョウツグミ？（確認中）





近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

日時：3月1日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：9:00 玄洋高校北西の端道路

日時：3月3日(火) 10:00~12:00 (定例探鳥会) 集合時間にご注意を！

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 第5駐車場近くの音楽堂ステージ側

日時：2月8日(土)、3月14日(土) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：2月9日(日)、3月8日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：2月16日(日)、3月15日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：天拝山歴史自然公園水上ステージ

日時：2月23日(日)、3月22日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：久末ダムの多目的広場横の駐車場

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員&高校生 100 円 一般 200 円 中学生以下無料)

日時：2月9日(日)、3月8日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：高良山(久留米市) / 集合：9:00 久留米市御井町・高良下宮社

日時：2月23日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：大牟田市・延命公園 / 集合：9:00 延命公園の体育館西側広場

日時：3月22日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：大牟田市・濃施山公園 / 集合：9:00 濃施山公園内すいせん橋

※お問い合わせは各支部のHPへ 福岡支部 <http://hachikuma3.blog.fc2.com/>
筑後支部 <http://grosbeak.blog.fc2.com/>

mini bird gallery

(写真提供：加藤芳隆さん、徳淵義実さん)



アネハヅル(出水)



ソリハシシギ(東よか観察会)



ヒレンジャク(小城公園)



ホオジロ



コノドジロムシクイ





観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

①2月11日 ④3月8日 佐賀市・東よか干潟



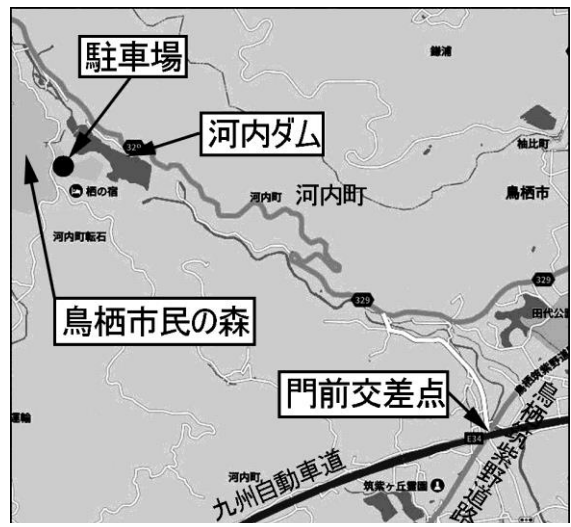
②2月16日 伊万里市・小島古墳



③2月23日 ⑥3月29日 小城市・小城公園



⑤3月22日 鳥栖市・鳥栖市民の森



～野鳥さが原稿募集中～

①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。（編集部：馬場順一）

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp





観察会などのご案内 (2020年2月～3月)

①2月11日(火・祝)④3月8日(日) 東よか干潟(大授搦)観察会(佐賀市)

[時間&場所] (2/11)09:00 (3/8)8:00
佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台
[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225
加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560
大川 幸子さん(佐賀市) 080-1704-4868
[見どころ] 3月は春を迎え、渡り前の鳥たちを観察
します。(トイレあり)

②2月16日(日) 小島古墳観察会(伊万里市)

[時間&場所] 9:00
伊万里市山代町久原の小島古墳駐車場
[担当]山崎 章弘さん(伊万里市) 090-3013-3132
[見どころ] 伊万里湾にある小島(現在は陸続き)の
頂上に築かれた前方後円墳です。石室の内部に
入れるそうです。公園で冬を過ごす鳥たちを観察
します。(トイレあり)

③2月23日(日) 小城公園観察会(小城市)

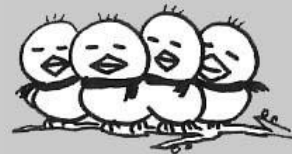
[集合] 09:00 小城公園駐車場
[担当] 蒲原 留美さん(小城市) 090-5294-3103
[見どころ] 梅の花を觀賞しながら、公園で春を待つ
鳥たちを観察します。レンジャク類が見られるといひ
ですね。(トイレあり)

⑤3月22日(日) 鳥栖市民の森観察会(鳥栖市)

[時間&場所] 9:00
鳥栖市河内町の鳥栖市民の森駐車場
[担当] 橋本 泰博さん(みやき町) 090-8833-6130
[見どころ] 河内ダム周辺の鳥を観察します。観察
会終了後は温泉に入ることができますよ。(^^♪
(トイレあり)

⑥3月29日(日) 小城公園お花見会(小城市)

[集合] 10:00 小城公園 梅林
[担当] 青柳 良子さん(小城市) 090-1659-7353
※飲み物、食事は各自持参して下さい。申し込み
は不要です。JRをご利用の方は小城駅に
唐津方面からは 9:39 着 11:16 着
佐賀方面からは 9:54 着 11:14 着
があります。



※観察会のお問い合わせは、佐賀県支部 web サイト(ホームページ)の「お問い合わせ」よりメール、
又は佐賀県支部携帯電話(080-1786-8452)へ
連絡して下さい。

共通事項

- ① 参加費(資料代、保険代)佐賀県支部会員 100円 非会員は300円
- ② 雨天中止。(前夜 18:55 のNHK 天気予報で降水確率 50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸 (☎ 090-2507-7085)
事務局：島田 洋 (☎ 090-2393-1286)
支部 web サイト <https://www.yacho-saga.org/>